

(お知らせ)

令和7年2月7日
防 衛 省

スタンド・オフ防衛能力に関する事業の進捗状況について

防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能力を強化することとしています。

この能力を早期に構築するため、国産スタンド・オフ・ミサイルの早期取得に向けた取組を進めているところです。

今般、国産スタンド・オフ・ミサイルのうち、島嶼防衛用高速滑空弾について発射試験を行い、本試験において飛しょう等が予定どおり確認されましたので、以下のとおりお知らせします。

島嶼防衛用高速滑空弾は令和7年度（2025年度）までに研究を完了する計画であり、引き続きスタンド・オフ防衛能力の早期構築に向けて取り組んでまいります。

1 目 的

島嶼防衛用高速滑空弾の研究に必要なデータの取得

2 発射試験日

- (1) 第1回発射 令和6年 8月25日（日）（日本時間）
- (2) 第2回発射 令和6年11月 2日（土）（日本時間）
- (3) 第3回発射 令和6年11月23日（土）（日本時間）
- (4) 第4回発射 令和7年 1月25日（土）（日本時間）

3 試験場所

米国（カリフォルニア州）

(別紙)

(参考) 島嶼防衛用高速滑空弾の研究・量産

島嶼防衛用高速滑空弾について、研究を進めるとともに、部隊配備を可能な限り早期に実現するため、令和5年度より量産に着手しています。

和歴	30年度	—	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
FY	2018	—	2023	2024	2025	2026	2027
研究							
早期量産							
▽発射試験							
▽発射試験 (今回)							
▽納入							

発射試験の写真

